

保育士養成課程における実習での音楽実技についての考察

大野 恵美^a

^a 湘北短期大学保育学科

【抄録】

教育実習と保育実習では、学生に求められている音楽実技に大きな差がある。教育実習では多くの学生に、実習の為の課題が出されている。このことから実習までに学生が行う練習量は充実している。保育実習では課題が出される学生は3割に留まり、実習の為の練習量は激減し、保育所での音楽活動を軽視する傾向が見られる。自主的に練習を行う為の動機付けが今後の課題である。

【キーワード】

教育実習 保育実習 音楽実技

1. 目的

短大における保育士養成課程での実習は、2年間に基本的には4回行われる。1年次最終に保育実習Ⅰと施設実習、2年次に教育実習と保育実習Ⅱである。その実習において、主に音楽実技を必要とする場面は、教育実習と保育実習Ⅱの2年次に行われるものである。実習園では実習生に対して、どの程度の音楽実技の力を必要と考えているのか。在学生の半数が音楽実技の経験がない学生である。その学生が実習でどのような取り組みを行い実態をどのように捉え学んでいく必要があるのか。現状から見える課題について検討する。

2. 方法

在学生2年目の学生に対し、教育実習と保育実習Ⅱの実習後にアンケート調査を行った。アンケートをもとに実習で実際に行われた音楽実

技の活動をとりまとめ、授業(週1回)で学んでいる個々の学生の練習量と進捗について現状の把握を行う。

対象学生：2年生

アンケート参加数：教育実習114名

保育実習127名

3. アンケート調査

A 教育実習

A-1 実習のピアノ課題について

実習に際して、実習園から実習生に対してピアノ課題が出されたかどうかについて調べてみると、実習前に課題が出された学生が全体の28%、実習中に課題が出された学生が全体の10%、実習前と実習中の両方に課題が出された学生が46%、課題は出されなかった学生は16%となる。課題が出されなかった園の理由として「園で音楽活動が殆ど行われていない」「実習生にはピアノの演奏

はさせていない」「自由保育のため」といった回答がみられる。実習前、実習中の両方に課題を出した実習園は半数近くを占めている。又、全体的には実習園の84%が何らかの課題を出していることがわかる。これは多くの幼稚園で童謡を歌うことを重視した音楽活動を行っていると考えられる。(図表A-1a参照)

A-1a (教育実習での課題曲について)

実習生：114 (121名) 未提出：7名

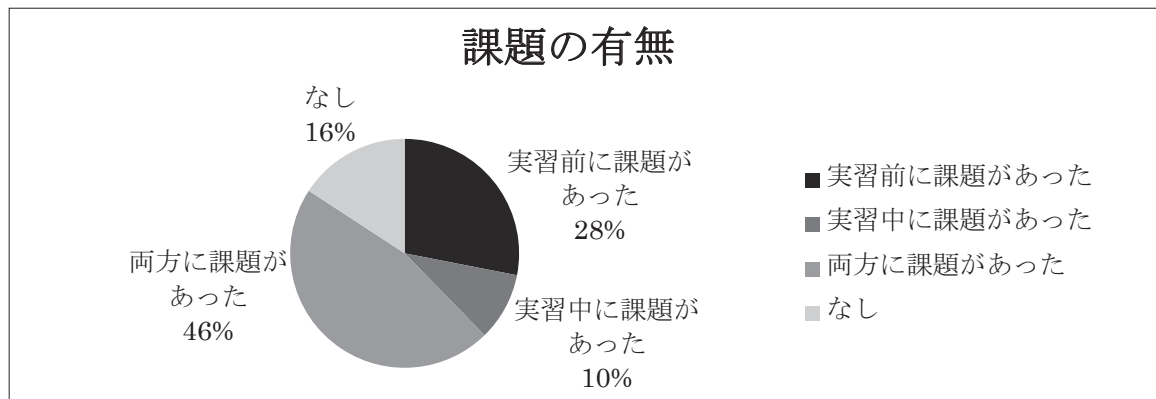
	実習前に課題があった	実習中に課題があった	両方に課題があった	なし
人数	32	11	53	18

それでは課題はどの程度出されているのだろうか。課題として出された童謡の曲数を見てみると、1曲～20曲とその幅に較差がある。まず実習前に課題が出された曲数で中心となるものは4曲、実習中の課題としては2曲、実習前と実習中の両方に出された曲数では2曲～4曲となる。この曲数だけをみると、学生の通常の学習で充分習得できる範囲になる。しかし5曲以上の課題を行った学生は全体の半数にのぼり、この場合は曲目を習得する為に多くの練習時間が必要になる。特にピアノ経験が浅い学生に対しては、実習でのピアノが重要な要素であることを指導し、日々の練習を積

み重ねることを促すことが大切である。実習生にピアノの実践力を望む幼稚園が多いということは、現実的に幼稚園では音楽活動が盛んに行われており、ピアノの習得は必須であることを示唆していると考えられる。(図表A-1b参照)

A-2 課題としての曲目

次に、どのような曲目を習得する必要があったかについて調べたところその曲数は膨大で162曲に及ぶ。ここで注目すべきことは、「生活の歌」についてである。かなり多くの園で「おはようのうた」「おべんとうのうた」「おかえりのうた」「さよならのうた」といった、一日の流れで必要とされる生活の歌が課題として挙げられている。そして季節に関わる歌「時計のうた」「あめふりくまの子」「かたつむり」「歯をみがきましょう」などが挙げられる。この曲目の中には、其々の園の特色でもある宗教的な要素も含まれている。「生活の歌」は、仏教系やキリスト教の園では、一般的に歌われているものとは異なり独自の音楽の世界が存在する。これらの曲から多くの幼稚園では、幼児教育で子どもが歌を歌うことによって養われる感性を大切に、指導が行われていることが確認できる。(図表A-2参照)



A-1b 〈課題曲数〉

曲数	実習前に 課題があった	実習中に 課題があった	両方に 課題があった 実習前	両方に 課題があった 実習中
1	0	3	3	6
2	1	4	6	12
3	7	2	5	8
4	9	2	14	3
5	3	0	6	7
6	2	0	4	5
7	4	0	3	0
8	0	0	3	3
9	0	0	3	2
10	0	0	0	0
11	0	0	1	1
12	0	0	2	1
13	0	0	0	0
14	0	0	2	0
15	1	0	0	1
16	2	0	0	0
17	0	0	0	0
18	1	0	0	0
19	0	0	1	0
20	0	0	0	2

A-3 ピアノ曲の演奏について

実習で、ピアノ曲の課題があり実際に演奏を行ったかどうかについて調査したところ「演奏を行った」と回答した実習生は全体の8.7%であった。童謡については多くの課題が出されるものの現場でピアノのみを演奏する場面は、静かな活動や活発な活動を促す場合や食事の場面などと限られていることから、同じ曲を繰り返し演奏することで、その曲が行動のきっかけとなるように扱われることから、曲数は限定されると考えられる。以下はその曲目である。

園で演奏したピアノ曲：

- ・キラキラ星
- ・ちょうちょう
- ・子犬のマーチ
- ・Bee マーチ
- ・シューベルトの子守歌

- ・星に願いを
- ・ラ・ラ・ルー
- ・Thank you for song
- ・夢をかなえるドラゴンボール

A-4 練習成果について

教育実習の為に2年次で学習できる期間は、4月、5月の2か月で授業の中で7回のレッスンを受講する。この期間だけで実習の為に準備を行うことは難しい。学生には1年次の2月、3月の実習期間に、教育実習で必要と思われる童謡の曲目を個々に練習するよう促している。4月、その習得について調査行くと80%の学生は何も練習を行っていない状態である。2年次、実習前の2か月が学生の実習準備としての練習期間になる。練習の成果が実習で生かされたかについて調査した

ところ、64%の学生が「成果があった」と回答している。短期間で目的に向けて凝縮したトレーニングを行った充実感と同時に、提示された課題は積極的に練習することによって現場での実践に繋げることができたものと考えられる。

「成果がなかった」としている学生のほとんどが「課題が出されなかった」「ピアノの実践がなかった」としている。(図表A-4参照)「どちらともいえない」とする25%の学生について、音楽実技の経験年数について調べると(音楽Ⅲ・進捗表からの調査)、半数の学生が1年以上～6年未満、次いで初心者となり10年以上の経験がある学生が若干であった。

理由として以下の回答が挙げられた。

- ・ 練習はしていたが課題が出されなかった
- ・ 子どもの前での演奏は緊張が強く、練習時とは

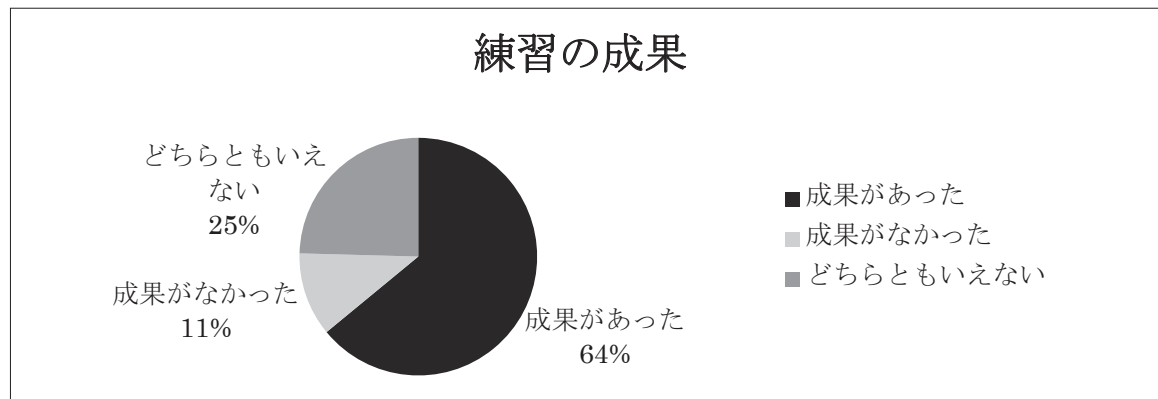
- 違った
- ・ 実践としての練習が不足していた
- ・ 子どもの様子を見て弾くことができなかった
- ・ 実習中の課題は、練習時間が少なく途中で何回も止まってしまった
- ・ 子どもの歌の速さについていかれなかった
- ・ 鍵盤を見ないと弾けないため

この回答から、経験値の有無によらず演奏に対する意識レベルは個々に異なり、個人の練習量と現場での実践から、学生がそれぞれ課題を見出していることがわかる。実習に向けて学生がどの程度の練習を行ったかについて、授業の進捗表からその平均値を出したところ、練習日数は1週間を単位とした場合3.7日で、1回の練習量は30分となった。

A-4 〈練習の成果について〉

	実習前に 課題があった	実習中に 課題があった	両方に 課題があった	両方に 課題がなかった	計
成果があった	23	5	42	3	73
成果がなかった	3	0	3	7	13
どちらともいえない	6	6	8	8	28

	成果があった	成果がなかった	どちらともいえない
人数	73	13	28



A-5 幼稚園実習での感想と課題

以下は抜粋である。

- ・ 子どものペースに合わせて伴奏を弾くことが必要
- ・ 言葉かけは大きな声で、全員が話しを聞ける環境設定を作ることが課題
- ・ 様々なテンポで弾けるように練習することが大切
- ・ 演奏の途中でピアノが止まらない様に練習しておくことが必要
- ・ 子どもの様子を見ながらピアノを弾くことが求められる
- ・ 余裕をもって弾けるように日々の練習が大切
- ・ 一人の練習では完璧に弾けても、子どもの声が聞こえると間違えてしまうのでどのような状況でも演奏ができることが課題
- ・ 演奏に精一杯で子どもたちに歌の歌詞を伝えることができなかった
- ・ 歌い出しの合図「どうぞ」「さんはい」のタイミングが良くできなかった
- ・ 実習のためのピアノ練習ではなく、1年間の保育をとおしての練習が重要である
- ・ 子どもたちをリードして歌えるように大きな声のトレーニングが大切である。
- ・ ピアノを間違えても子どもの歌はどんどん進んでしまうので、右手だけでも止まらないように練習することが必要である。
- ・ 鍵盤を見ないで弾けるようにすることが大切
- ・ 前奏を速く弾いてしまい子どもの歌の速さと違ってしまったので、子どもの歌に合わせて弾けるピアノの技術を身に付けたい
- ・ ピアノではなく足踏みオルガンだった為、弾き方が解らず足にはばかり気をとられて困った。
- ・ 子どもの様子を見て、対象年齢にあった歌いやすい伴奏にアレンジする工夫が大切
- ・ ピアノは日々の練習がとても重要で、練習を増

やすことで子どもと楽しめる

- ・ 最初は緊張したが少しずつ子どもを見て演奏できるようになった
- ・ 実習中に課題が出された為、土日は5時間の練習を行い、結果を出すことができた。

B 保育実習

B-1 実習のピアノ課題について

保育実習でピアノの「課題があった」と回答した学生は全体の30%で、あとの70%は「課題がなかった」学生である。「課題があった」とする内容について調べると実習前に2曲～3曲の課題、実習中に1曲～3曲、実習前と実習中ともに課題があった場合は2曲～3曲と、曲数にすると学生の通常の練習で習得可能である。しかし中には5曲、10曲といった回答もあり保育のなかで音楽に大変力を入れている園もある。学生がどのような園で実習を行うかについての選択はできないことから、季節や生活を軸にした童謡は保育の仕事に従事する基礎力として学ぶ必要がある。(図表B-1a、B-1b参照)

B-1a 〈教育実習での課題曲について〉

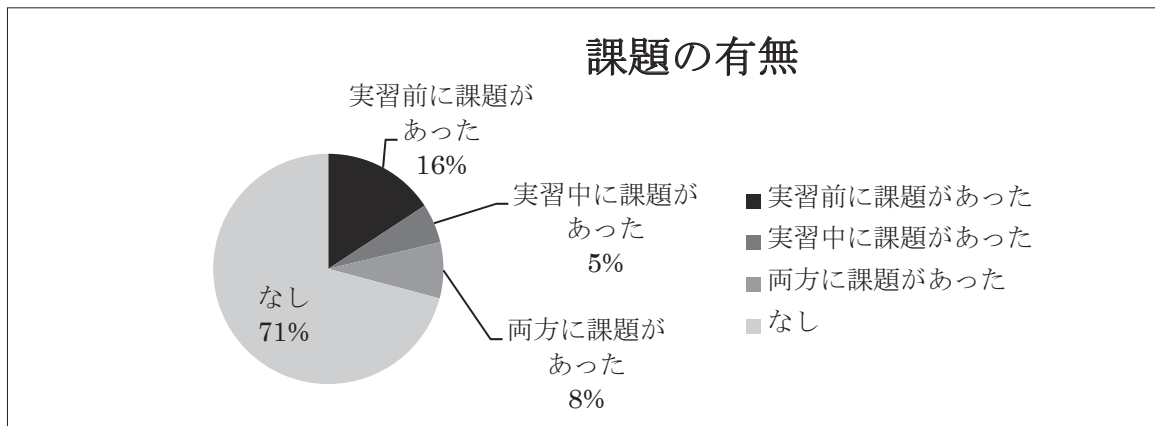
実習生：128名 未提出：1名

	実習前に課題があった	実習中に課題があった	両方に課題があった	なし
人数	20	7	10	90

B-2 課題としての曲目

保育所での課題曲についても幅広い童謡(52曲)が歌われている。「生活の歌」としては「おはようのうた」「おかえりのうた」といった挨拶の歌と、季節の歌では「とんぼのめがね」「どんぐりころころ」など伝統的な童謡が歌われている。(図表B-2参照)

実習生に対しての課題という点からみると、学



B-1b 〈課題曲数〉

曲数	実習前に課題があった	実習中に課題があった	両方に課題があった 実習前	両方に課題があった 実習中
1	1	2	1	2
2	7	1	4	2
3	4	2	1	3
4	1	0	0	0
5	1	0	1	2
6	2	0	0	0
7	4	2	2	0
8	0	0	0	1
9	0	0	0	0
10	0	0	1	0

生に負担のかかるような曲数や曲目は求められていない。ここでは童謡のピアノ課題についての調査になるが、学生の感想から「ピアノは演奏しなくても童謡を歌う」「遊び歌は一日に何回も楽しんでいる」といった内容があり、保育現場の実態のなかにはピアノを演奏しなくても、より良く音楽空間を展開していることが記されている。

因みに「遊び歌」として挙げられた曲は「おちたおちた」「かみなりどんがやってきた」「大きな栗の木の下で」「線路は続くよどこまでも」「こぶたぬきつねこ」「バナナくんの体操」「ピクニック」などである。

B-3 ピアノ曲の演奏について

この項目についてはすべての学生が、ピアノ曲の課題はなく演奏しなかったとの回答になった。実習生には課題を課すことがなかったと考えられる。保育の中でピアノ曲が活動を促したり、生活のきっかけとしている場面もあるので、音楽実技の2年間の学習から保育に繋げられるピアノ曲の習得も大切である。

B-4 練習の成果について

練習の成果について、「課題があった」学生がどのように感じているかについて調べると、「成果

保育士養成課程における実習での音楽実技についての考察

があった」としている学生があまり多くない。「どちらとも言えない」としている学生が多いことから、実習前の夏季休暇中の練習状況について調べると、1週間を単位として3日となり、1回の練習量は15分程度という平均値であった。週3日～4日という日数で、20分以上練習している学生は全体の半数に満たないという現状だった。実習生全体から見ても夏季期間中、個々に練習を行ったとしている学生は30%であった。授業は毎週1回は行われる為、それに向けてピアノと向き合う時間を各自で設定するが、個々に目的を定めて練習することがいかに難しいかという結果になる。(図表B-4参照)

- ・ 実習でピアノの課題がなくても、現場では音楽活動が日々行われている
- ・ 朝の会で何曲も歌を歌い、又振り付けながら子どもたちが楽しく歌っていた
- ・ 運動会で5歳児が器楽合奏（タンバリン・小太鼓・シンバル）の演奏を行った
- ・ 年長クラス、年中クラスではレベルの高い鼓笛を行っている
- ・ 担任の先生が時間があるときは様々な曲を弾いていた
- ・ 一斉保育の中で、朝の会、給食の前、帰りの会で月の歌などを歌っていた
- ・ クリスマスにミュージカルと劇を行う為、日常的に音楽活動が盛んである
- ・ 発表会に向けて歌と手話を練習していた
- ・ 1歳から5歳まで、毎日沢山の歌を歌っており

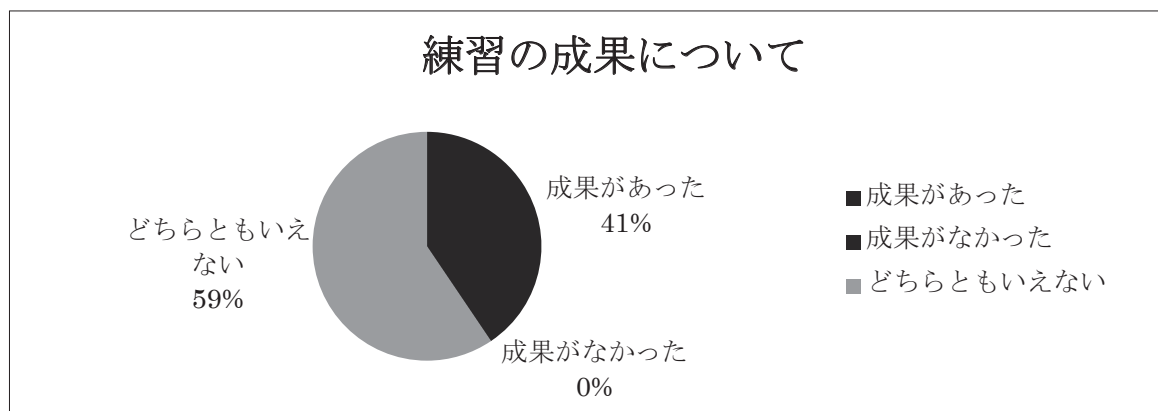
B-5 保育実習での感想と課題

以下の内容は、抜粋したものである。

B-4 〈練習の成果について〉

	実習前に課題があった	実習中に課題があった	両方に課題があった	両方に課題がなかった	計
成果があった	6	3	6	0	15
成果がなかった	0	0	0	0	0
どちらともいえない	13	6	3	0	22

	成果があった	成果がなかった	どちらともいえない
人数	15	0	22



- 音程がしっかりとれていて驚いた
- ・ リトミックとリズムの指導が、音楽講師によって行われていた
- ・ 乳児クラスでは太鼓の玩具、1歳クラスではカスタネットの遊びを行っていた
- ・ 音楽に合わせて体操を行っていた
- ・ 音楽に合わせてスキップやリズムの遊びを行っていた
- ・ 音楽講師の指導で楽器のトレーニングが行われていた
- ・ 3歳児から5歳児まで其々のクラスで、季節の歌に合わせて楽器演奏を行っていた
- ・ 季節の歌は沢山に歌われていた
- ・ 保育士のピアノが上手ではなかった
- ・ 足踏みオルガンが慣れていないので演奏にとっても苦労した
- ・ 子どもたちがギターに合わせて歌っていた
- ・ 遊び歌は活動の節目で多く歌われていた
- ・ ピアノは使わず口で伴奏をしていた
- ・ 活動の多くはCDを使っていた

4. 考察

今回の調査から、音楽実技として教育実習と保育実習では、学生に求められる観点が大きく異なることが解る。教育実習では9割弱の学生が、音楽課題を実施し、その半数の学生は、園での盛んな音楽活動を知り、課題の達成の為に猛練習を行う。結果として殆どの学生は、その練習の成果を感じている。感想の中には、個人的な練習の場面と現場で子どもに対する場面での演奏に、今後の課題を見い出したり、実際は練習をした時のようには表現出来なかった場合も、一人一人が成果を感じ取っている。課題を提示され、それに向けての時間は凝縮された有意義なものとして受け取ることができる。それに対して保育実習では、音楽実技を実習生に課していない園が多いということ

だけではなく、実習で学生が学ぼうとする方向が異なることから「実習でピアノは演奏しない」という前提が見えてくる。それが夏季休暇中の練習量に現れ、自発的に練習を重ねている学生が全体の3割という結果は、個人で計画的にトレーニングを積むことの難しさを示している。この現状から、教育実習で培ったピアノ実技の力を維持することは難しいことになる。

教育実習後の7月、8月の2か月間は、学生自身がそれぞれの自由な学びを展開出来、個々に力をつける時期である。その貴重な時に学生が目的を持って学習するための「練習の仕掛け」を提示できれば、就職後も子どもとの生き生きとした音楽空間が生まれることは間違いない。今までもこの時期の学習の在り方について、個々に目的を持ち後期に発表するなど学びの達成の成果を知ることができる指導は重ねている。音楽経験が少ない学生が多いことを考慮し、学生のレベルに合った教材を提示し、又練習のガイドとなる素材を提供できれば、練習の継続に導くことに繋がる可能性はある。

保育実習では、課題を行う学生は全体の30%に留まるが、実習後の感想の中からは、音楽活動は様々な形で盛んに行われていることがわかる。音楽活動が童謡を歌うという表現の部分としてではなく、音楽の幅広い保育の在り方に気付かされている。この二つの実習で学生が身に付けるべき素材は、今回の調査を通して少なからず見えており、これは学びの達成の目印があるということになる。学生のそれぞれの音楽経験をもとに、丁寧な学びの枠を設定できれば、実技の力を現場で発揮することは可能である。その為には1年次の実技としての授業の中でも、実習を踏まえた指導を行う必要があり、童謡の弾き歌いの実践は多いことが望ましい。そして実習後の2年生後期の時期では、実習の体験をもとに現場に向けての力をど

こまで高めることができるかによって、仕事の資質が変わってくるであろう。学生は出会った園で様々に考えを深め、理想とする仕事の在り方を模索し形成していく。保育の仕事をより素晴らしい空間にするために、自発的に楽しく学べる指導を継続し、又新たな指導方法の挑戦を実行する必要がある。

A-2 教育実習 実習事前・実習中課題曲

	曲名	実習事前	実習中
あ	アイアイ		1
	あいさつのうた	1	
	アイスクリームのうた	2	
	青い空にえをかこう	1	
	あか あおきいろ	2	
	朝ですおはようございます	1	
	朝のあいさつ	2	
	朝のうた	6	1
	あしたになれば		2
	あなたのお名前は	3	1
	あまだれぼったん	4	
	雨	1	
	あめふり	2	
	あめふりくまのこ	16	8
	あめふり水族館		1
	ありがとう	1	
	ありさんのおはなし		1
い	1、2、3のごあいさつ	2	1
	いただきますのうた	1	
	いちわのことりさえ	1	
	イルカはザンブラコ	2	
	いつまでも	1	
	いとまきの歌		1
	祈りのあとに		1
う	うるわしき朝	3	1
	うたえバンバン	2	1
	うんどうかいのうた	2	
	ウンパッパ		1
え	園歌	11	4
お	おいけのハーモニー	2	
	おいしいごちそう	1	
	お祈りのうた	1	1
	お祈りはね		1
	大きい木		1
	大きな声で	1	
	おおきなタイコ	2	
	大きな古時計	5	1
	おかえりのうた	50	8
	おかたづけ	3	1
	おつかいアリさん		2
	お手をあわせて	1	
	お手てを洗いましょう		2
	おててをきれいに	1	
	おとうさん	1	2
	お当番のうた		2
	おどるボンボコリン	1	
	おなかのとけい	2	
	お眠りの曲		4
	おぼけなんてないさ	1	
	おはよう	14	9
	おはようのうた	40	

	曲名	実習事前	実習中
	おひさまキラキラ	1	
	おひるがきました	1	
	おへんじハイ!	2	
	おべんとう(給食のうた)	42	16
	おべんとうのうた	14	
	おまつり		1
	おむねをはりましょ	1	
	おもちゃのチャチャチャ	1	2
	おやつ <u>の</u> うた		1
か	かえるのうた	9	4
	かたつむり	11	12
	かけっこ	1	
	片付けの歌		1
	かんしゃのうた		1
	かえりのうた		3
	カレンダーマーチ		1
き	きょうも元気	1	
	キラキラ星		6
く	くじらのうた	1	
	Good morning	1	
	黒ねこのタンゴ		1
	くじらのとけい		2
	クレヨンロケット		1
け	けさもわたしも	1	
こ	こいぬのマーチ		1
	ごきげんいかが	1	
	こどもかんのんさま		1
	こたりのうた	1	
	子守歌	4	5
さ	さくらんぼ	1	
	さようならのうた	22	4
	さよならマーチ	1	
	さんぽ	2	2
	Thank you for song		1
し	ジグザグおさんぽ	1	
	しっている	1	
	シャボン玉	3	2
	シューベルトの子守唄	2	
	食前のおいのり	4	
す	すうじのうた	5	2
	すてきなパパ	6	3
せ	世界中のこどもたちが	2	
	線路は続くよどこまでも	1	1
	前奏曲	1	
そ	ぞうさん	1	1

保育士養成課程における実習での音楽実技についての考察

	曲名	実習事前	実習中
た	だから雨ふり	1	1
	たなばた	1	
	たんじょうび	1	
	七夕さま	4	8
	たのしいね	1	1
ち	ちいさいおてて	4	
	小さな世界	1	
	ちようちよう	2	13
	珍念さん		1
て	手のひらを太陽に	1	2
	手をたたきましょう	2	
と	とけいのうた	14	11
	どこですか	1	
	となりのトトロ	1	1
	トマト	2	
	ドレミの歌	1	
	ドロップスのうた		1
	とんでったパナナ		3
	どんないろがすき	1	1
な	ながぐつマーチ	3	
	なんでもたべろこ	4	
に	虹	7	5
	虹のむこうに	5	4
	ニャニョの天気予報	1	
	人形の夢と目覚め	2	2
ね	ねずみの前歯		1
	ねずみのはみがき		1
の	ののさまに		1
	ののさまのうた	2	
は	バスごっこ	1	1
	パタパタママ	2	
	はなよはなよ	1	
	歯のうた		1
	歯をみがきましょう	10	7
	パパはママがすき	1	
	ばらばらおちる	1	1
ひ	Beeマーチ	2	
	Belive		1
	ピクニック		1
ふ	富士山		1
	富士に歌おう	1	
ほ	ぼくのミックスジュース	1	1
	星に願いを		1
	仏さま		1
	仏のこども		1
	ホ！ホ！ホ！		1

	曲名	実習事前	実習中
ほ	ポンポンおはよう	1	
ま	前に出し横に出し	1	
	またあした	1	
み	ミッキーマウスマーチ	2	
	みんなでたんじょうび	1	
む	虫歯建設株式会社	1	
	むすんでひらいて	1	1
め	めだかの学校	1	1
も	森のくまさん	1	
	もりもおやまも	1	
や	やさいのチャチャチャ	1	
	やさしい天の神様が	1	
	山の音楽家		1
	山のワルツ	1	2
ゆ	ゆうやけこやけ		1
	夢をかなえてドラえもん		1
	ゆりかご		4
よ	夜が明けた		2
	よいこのあいさつ		2
り	リスさんのケーキ		1

B-2 保育実習の実習事前課題曲

	保育実習
あ	アイスクリームのうた 2
	アイアイ 2
	朝のうた 2
	朝はみんなに 1
	あまいミルク 2
う	うんどうかいの歌 4
	うみ 1
え	園歌 1
お	おとうばんの歌 1
	大きな栗の木の下で 1
	おさかな天国 2
	おばけなんてないさ 3
	おやつの歌 3
	おべんとう 9
	おかえりのうた 19
	おはようのうた 17
	おべんとうのうた 1
	お祈りのうた 1
	おもちゃのチャチャチャ 2
	おひさまキラキラ 1
か	かえるのうた 1
き	キラキラ星 1
こ	こおろぎ 1
	子守歌 1
さ	さよならのうた 3
	さんぽ 1
し	証城寺の狸囃子 3
	幸せなら手をたたこう 1
せ	線路は続くよどこまでも 4
そ	そうだったらいいのにな 1

	保育実習
ち	小さい秋みつけた 1
て	手のひらを太陽に 2
	手をたたきましょう 1
と	とけいのうた 1
	とんぼのめがね 15
	どんぐりころころ 4
	動物園にいこう 2
な	夏だよプールだよ 1
	仲よしさんと仲よしさん 1
に	人間ていいな 1
の	ののさまのうた 1
は	バスごっこ 1
ふ	ふしぎなポケット 1
ほ	仏のこども 1
み	水あそび 2
む	むすんでひらいて 2
	虫の声 3
も	黙想の曲 1
	もみじ 1
や	山の音楽家 1
ゆ	夕やけこやけ 2
ら	Let's Go いいことあるさ 1

Consideration about the music practical skill in the training in a childcare worker training course

Megumi OHNO

[abstract]

The music practical skill for which a student is asked by practice teaching and Childcare training has a big difference. A subject is taken out with practice teaching by many students. The amount of practice of the student to training is Substantial. The student by whom a subject is taken out with child training is 30 percent. The amount of practice decreases sharply from this. Motive attachment of practice independently is a future subject.

[key words]

practice teaching, childcare training, music practical skill